

## 2021年 8月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

- 8月 1日 (日) 集会 (アクト研修交流センター 36セミナー室)  
司会・感話： 武井 めぐみ  
聖書講話：マタイによる福音書4章1～4節、ルカによる福音書4章13節  
「愛真高校で感じたこと」 永井 徹
- 8月 8日 (日) 集会 (アクト研修交流センター 36セミナー室)  
司会・感話： 大屋 智代  
聖書講話：マルコによる福音書 9章42節～10章12節  
「二つの教え～罪への誘惑と離縁について～」 水戸 潔
- 8月22日 (日) 集会 (アクト研修交流センター 36セミナー室)  
司会・感話： 大手 美千代  
聖書講話：フィリピの信徒への手紙3章7～9節  
「パウロの書簡に見る『イエス・キリストの信実』3」 榎本 潤
- 8月29日 (日) 集会 (アクト研修交流センター 36セミナー室)  
司会： 武井 陽一 感話：伊藤 純子  
聖書講話：ルカによる福音書13章10～17節  
「ルカによる福音書13:10-17に学ぶ」 生江 扶左子

### 愛の瞳

竹内 英子

八月の青い空が みどり濃い青葉の上を超え  
そびえ立つ北アルプスの峯を超えて 何処までも大きく広がる

青い空のかなたに私は 此方(こちら)をじっと見る 一つの瞳を感じる

地上の深い悲しみを 一人ひとりの心の痛みを  
じっと見つめておられる 愛のまなざしを私は思う

弱さの中から 貧しさの中から 愚かさの中から

現実のとばりを通して 常に永遠をみつめる瞳を 私はもちたい (1985年8月)

### 苦難の福音

溝口 正

われわれの集会には、艱難を負っておられる方々が、たくさんおられます。しかし、その一人一人が、すばらしい道を備えられて歩いておられるのだということが、私にはよくわかりました。私は、そのお一人お一人に申し上げたい、苦難を呪ったり、避けようとしたりしないで、喜んでその苦難に服従するところに道が開けているんだということを……イエスさまが、山上の垂訓の中で、貧しい人たち、悲しんでいる人たち、ふみつけられてじっと我慢している人たち、信仰のために迫害されている人たちに対して「幸いなるかな!」「ああ、あなたがたがは幸いだ!」といわれた意味が、ここでよくわかったように思いました。その苦難の道こそが天国への道であるからにはほかなりません。

最も大きな苦難の生涯を歩まれたのが、イエス・キリストであります。その苦難の極点に立つものが、十字架の死であります。キリストは父なる神の御心に服従して、苦難の十字架を負い遂げられました。この苦難の道を通して、罪を贖う神の子の使命を果たし、復活され、天にあげられ、神の右に座し給うのであります。苦難こそが天国への道であることを、身をもって証してくださったのがイエス・キリスト、その人であります。キリストの福音は正真正銘、苦難の福音であるのです。

(1975年2月 『復活』第110号)